

東海東京財団ニュース

2023年9月25日

各位

一般財団法人 東海東京財団
愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1

一般財団法人 東海東京財団 2023年度「祭礼行事伝承助成」助成対象先を決定

一般財団法人 東海東京財団（2016年8月設立、理事長 石田建昭）は、地域の将来を担う人材やグローバルに活躍できる人材の育成、また、地域社会において、国際経済や社会への理解を促す機会の創出、文化・芸術振興などを通じて、地域社会の将来の発展に寄与することを目的といたしております。

愛知県内各地の祭礼行事が、末永く保存・伝承され、発展していくことを願い、2023年6～8月にかけて「祭礼行事伝承助成」の公募を行ないました。合計7件のご応募があり、厳正なる選考の結果、7件の助成対象先（別紙参照）を決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。

なお、本助成事業は7年目であり、累計54件、20,012千円の実績となります。

2023 年度「祭礼行事伝承助成」について

1. 実施背景

2016 年 11 月、全国で 33 件の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。そのうち、愛知県には全国最多の 5 件が所在しております。登録により文化的価値が改めて広く認識されるとともに、地元の活性化、伝統文化全体への波及効果なども期待されます。

こうした「山・鉦・屋台行事」に限らず、地域社会に伝わる各種の祭礼行事が県内各地に存在しておりますが、一方で、こうした行事を保存・伝承していくうえでの若い後継者の不足が懸念されているほか、その保存・伝承を継続していくうえでの経済的な支援が求められている状況です。

2. 公募方法および申込期間

公募方法：各自治体の教育委員会等を推薦窓口とし、愛知県県民文化局に書類提出。

申込期間：2023 年 6 月 12 日（月）～8 月 14 日（月）

3. 助成対象

愛知県内に存在する伝統的な祭礼行事および民俗芸能等の保存・伝承、後継者の育成のための活動に努めており、下記の項目に該当する団体に対して支援いたします。助成対象となる経費は「用具購入・修繕費、製作材料費等」のみとします。

- (1) 2024 年 3 月までに、申請した費用の支出を予定していること。
- (2) 団体の負担以外に外部からの資金協力が緊急不可欠であること。
- (3) 市町村教育委員会または市町村文化財保護行政担当部局の推薦がある団体であること。但し、推薦枠は各市町村につき 2 件までとします。
- (4) 次に該当するものは、すべて対象外とします。
 - ① 過去に本財団から助成を受けている団体
 - ② 2 件を超えて推薦をした市町村に属する団体
 - ③ 2022 年度、「用具購入・修繕費、製作材料費等」について外部から助成を受けている団体、および 2023 年度に同費用について外部から助成を受けることが決定している団体

4. 助成対象者の決定

本財団の事務局において応募書類等の審査の後、理事会（2023年8月29日）における承認のうえ決定した。

5. 助成決定件数および助成額

- ・2023年度「祭礼行事伝承助成」 助成申込件数、決定件数および助成金額

申込件数	決定件数	助成金額
7件	7件	2,520千円

※助成決定先、助成金額内訳は別紙をご参照ください。

以 上

(別紙) 2023年度「祭礼行事伝承助成」助成先一覧

7件 2,520千円

(敬称略)

[交付先]

番号	市町	団体名(カナ)	助成内容	助成金額 (千円)
		行事名	概要	
1	半田市	カメザキシオヒマツリ ナカギリグミ リキジンシャ 亀崎潮干祭 中切組 力神車 行事名: 亀崎潮干祭の山車行事	・吹貫の竿1対(2本)、房紐の修繕 今回修復する吹貫の竿と房紐は江戸時代幕府の旗印に由来する格式高い重要な懸装品である。過去の修理にてカシュー(偽漆)が塗布されていることが判明し、想定外の全面掻き落とし修理が必要で予算が足りない状況。房紐も含め損傷状況も酷く、事故にも繋がりがねない状態なので早急な復元新調が必要である。	317
2	半田市	トノカイドウヤマ 殿海道山 行事名: 乙川 八幡社・若宮社例大祭	・彫刻部材檀箱の修繕 171年にわたる経年劣化(金箔や漆の剥げ)により細かな損傷が激しく、破損欠落等の本格的な修繕に向けて、必要最小限の修繕費用を申請するもの。毎年祭礼費用を山子(組員)や役員が負担しているため負担軽減を図る。	495
3	常滑市	キタジョウ マツリホソソカイ 北条 まつり保存会 行事名: 常滑地区祭礼(とこなめの春まつり)	・山車ゴマ(車輪)の修繕、直巻間尺笛30本の購入 山車ゴマは磨れにより変形し安全確保のため修復が必要である。笛は利用可能な笛が40本だが、会員数は60名でさらに新たに子どもの会員が10名増える予定のため次代の技能継承者を育成する為にも購入が不可欠である。	490
4	蟹江町	ヒガシオオミヨウカグラホソソカイ 東大海用神楽保存会 行事名: 東大海用秋祭り	・神楽太鼓張替1枚、台車タイヤ4個の修繕 尾張南部における郷土芸能である神楽太鼓の保存・伝承、後継者の育成のための活動に努めており、活動に使用する太鼓は、強く張って竹製の細いバチで交互に叩くことで甲高い音色で演奏するのが特徴。神楽を正確かつ安全に伝承していくために修理は急務である。	142
5	東浦町	フジエジンジャ ヤツガシラフガクホソソカイ 藤江神社 八ツ頭舞楽保存会 行事名: 藤江のたんつく獅子舞	・桶太鼓 張替 8枚 当獅子舞は、県の無形民俗文化財に指定され、青少年への伝承活動として、地元の児童館や小学校でも出前授業を行っており、伝統の灯を絶やさないようにしている。活動に使用する桶太鼓は、雄・雌獅子が舞う際、胸につけ叩いており、たんつく獅子舞には欠かせないものであるため、修理を行うことが必要。	102
6	美浜町	カミノマク 上野間区 行事名: 上野間祭	・太鼓革張替、胴7個の修繕、張扇10本購入 町指定文化財に指定されている上野間越後と上野間四島の山車がある。山車を始め祭礼道具の一つである楽器は、経年劣化により破損が目立ってきており、新調の必要が生じている。民俗芸能の保存・伝承、後継者の育成のために解決していきたい課題である。	474
7	美浜町	コウワダシホソソカイ 河和山車保存会 行事名: 河和まつり	・法被55枚の購入 町指定文化財に指定されている河和北組と河和中組の山車がある。山車を始め祭礼道具の一つである法被は、色あせや破れが近年ひどくなり、新調の必要が生じている。民俗芸能の保存・伝承、後継者の育成のために解決していきたい課題である。	500

以上